大阪大学　指定国立大学法人構想の概要
目指す大学像「社会変革に貢献する世界屈指のイノベーティブな大学」

基本コンセプト　社会との「共創」を通じ、「知」を創出し、人材を育成することによって、人類の幸福と社会の持続的成長のためのイノベーションに貢献する

大阪大学の卓越した研究実績と強みを活かし、「共創」により世界的研究拠点を形成

世界的研究拠点の形成
4領域で推進
- 免疫学
- 生命医科学融合
- 共生知能システム
- 光と物質の科学

社会課題を意識した新学術領域の創成
- 三次元生命システム・イメージング研究
- 環境・エネルギー研究
- 暮らしの空間デザイン研究

など**専門分野を統合する研究**を推進し世界的研究拠点形成につなげる

研究スタイルが変わる

データ駆動型研究による新学術領域の創成基盤
- 全国に先駆けてビッグデータ解析の拠点を設置

共創機構による組織間連携の推進により「知」「人材」「資金」の好循環を実現

共創機構（2018年1月設置）
学内外を見渡し大学全体の共創活動を統括する司令塔

共創による「好循環」
「大型の組織間連携」のエンジン

共創機構の４機能

デザイン（共創テーマ探索）→ コーディネーション（共創クラスター組成）→ マネジメント（共創クラスター推進）→ パブリックリレーションズ（共創成果の社会発信）

共同研究収入の増大



「共創」に向けた人材育成・獲得

高度教養教育体制（学部から大学院までの一貫整備）
- 高度汎用力教育
- アントレプレナー教育　など

■「教養」「国際性」「デザインカ」を備え、知識を社会課題の解決に活用する力を育成

新たな学位プログラムの展開（大学院）
- 卓越大学院プログラム
- 博士課程教育リーディングプログラム　など

■アカデミアのみならず社会のイノベーション創出でも活躍する博士人材の育成

ダイバーシティの強化
- 女性、若手、外国人研究者や留学生への支援を強化

■ダイバーシティ・アンド・インクルージョンの観点から環境を充実し、優秀な人材を獲得

国際協働ネットワークの基盤強化

1．グローバルナレッジパートナー
■海外有力大学20校（ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン、上海交通大学、グローニンゲン大学等）と戦略的に連携し、国際共創を生み出す。

2．大阪大学ASEANキャンパス
■ASEAN(タイ、インドネシア、ベトナム、ブルネイ）と日本の次世代を担う先導的高度グローバル人材の育成と質の高い成長への貢献

3．OUグローバルキャンパス
■新たな組織間連携の実践フィールドとして有効活用
■大阪府箕面市2021年度開設

ガバナンス改革　意思決定の迅速化・全体最適な経営
- 阪大版プロボスト［経営担当、教育研究担当の2名の総括理事］
- 部局を大括り化した３つの戦略会議［施策・課題検討の“横展開”を促進］
- 全学的なリスク管理体制の強化

財務基盤の強化　「研究力」「社会との連携」「国際協働」の強化に資する財務基盤強化策
- 共創機構を活用した好循環及び大型組織間連携の拡大により自己収入を増加
- 国内外の同窓生等のネットワークを駆使して寄附金収入を増加
- 資産運用収入の増加